

カステラルクゥアート (Castell' Arquato)

長い冬も終わり、やっと、どこにでも行ける季節となりました。カステラルクゥアートは、以前から行きたかったところですが、ピアチェンツァ東南のアルダ溪谷にある為、雪が消えるのを心待ちにしていた所です。楽しみにしていたので期待も大きく膨らんでいたのですが、その期待を裏切ることのない素晴らしい観光地でした。実は、カステラルクゥアートは、「最も美しい村」と「小さな街・村」の両方で推薦されているだけでなく、ピアチェンツァとパルマ地域の「Castelli del Ducato」でも推薦されている観光地です。街は城壁で囲まれ、丘の上の城を中心とした本当に小さな街なのですが、街全体が観光スポットと言っても良いような素晴らしい所です。この日は天気が良く暖かかったこともあり、高級そうな一眼レフのカメラを持ち写真を取り捲っている観光客がたくさんいました。これだけ被写体の多い観光地はめったにないと思います。以前訪れたポッピオと甲乙つけるのが難しいくらいの「最も美しい村」であることは間違いありません。

この日は日曜日でしたので、カステラルクゥアートに向かう路線バスは、朝早くと午後の2本しかないため、今回は、フィレンツォーラからタクシーで行きました。カステラルクゥアートに近づきタクシーの窓から見える丘の上の城と街の景観は圧巻です。村に入ってから細い石畳の道を走っている間に見える周りの建物も期待を更に高揚させてくれました。今回は、丘の上の城のあるところまでタクシーで乗りつけた（路線バスでは丘の麓までしか行きません）ので、いつものように苦しい上り坂を歩く必要がなく助かりました。従って、今回の案内は丘の上のお城から始まります。

丘の上にはムニチピオ広場があります。その広場は、如何にも典型的なヨーロッパの城の形をしたロッカ・ヴィスコンティア（14世紀中旬に建造）、8世紀に建てられた（12世紀に建て直されている）コッレジアータ（教会）、13世紀に建造された宮殿（パラダイス宮殿）で囲まれています。一つ一つの素晴らしい建物はそれぞれ違った特徴を持ち、それらに囲まれてなんとも豪華な広場です。おまけに、この広場が丘の一番高いところですので、ここから眺めは最高です。こんな素晴らしい広場は、イタリアでも数少ないと思います。この日は、広場に街頭市が立ち並び、チーズ・サラミ、骨董品やお土産まで揃っていました。

コッレジアータの裏には回廊（キオストリーノ）があり、そこに、古いフレスコ画、宗教画等が展示された博物館（3.5ユーロ）があります。残念ながら展示物の撮影は出来ませんでしたが、展示物より建物のほうが見ごたえがありました。





広場の南端の崖淵にあるロッカ・ヴィスコンティアにも入ることができます（3.5ユーロ）。この城はL字型をしていて、当初は城の四隅に城塔があったそうですが、現在はこの東の城塔しか残っていません。この城塔の中は博物館になっていますが、これといったものは展示されていません。但し、城塔の一番上まで登ることができます。城塔の上に登ると、澄んだ青い空と太陽の光を浴びてきらめいていた山々に残った白い雪のコントラストがアルダ渓谷の景観の美しさを倍増していました。それに、城塔から見たカステラルクゥアートの街並も素晴らしく、この眺めに接しただけでもここに来た意味があります。3.5ユーロは全く高くありません。





本当に素晴らしい広場で、この広場を離れる時にはかなり後ろ髪を引かれてしまいました。それでも、タクシーの窓から見たカステラルクゥアートの街並を見ようと、広場を離れて街を散策です。街中を歩いて感じたことは、広場にある城や教会等の観光モニュメントと匹敵するような建物がいっぱいあることです。要するに、ムニチピオ広場だけでなくこの街全体が観光モニュメントであることが認識できます。ちょっとした路地裏や、小さなアーチの門の先にも足止めを喰らってしまうようなところがあるのです。小さな街なので、隅から隅を歩いてもたいした距離はありませんので、街のほとんどの路地裏まで歩いてしまいました。但し、細い石畳の路は、丘の上の街を象徴するかのように、アップダウンの連続です。





街中の散策の終点は城壁の外にあるこの丘の麓です。丘の麓はアルダ渓谷です。そこには雪解けで水量豊かなアルダ川が流れています。川縁から丘の上を眺めると、頂上にはロッカ・ヴィスコンティアがあり、その周りのカステラルクゥアートの街並と城壁がとてもきれいです。またまた、イタリアの街の奥の深さを実感した今回の“小さな旅”でした。バス停の傍のバールで一休みをして、美しい景色に未練を残しながら1日2本しかないバスに乗って帰路に着きました。



今回は、ちゃんとした計画も立てずにふらりと出かけてしまいましたので、日曜日には路線バスがないことをちっとも気にしていませんでした。それでも、親切なタクシーの運ちゃんのおかげもあり、非常にスムーズな移動が出来ました。カステラルクゥアートへの路線バス（Tempi）は、ピアチェン

ツァとフィオレンツォーラ駅前から出ています。ピアチェンツァ出発のバスがフィオレンツォーラを
経由するので、どちらから乗っても同じバスです。所要時間はピアチェンツァから約 50 分で、フィ
オレンツォーラからは約 20 分です。今回は、ロゴレドからフィオレンツォーラまで普通列車 (6.5
ユーロ) で行き、フィオレンツォーラでバスの乗るつもりでしたが、駅前のバス停で日曜日にはバス
がないことを知り、急遽タクシーに乗って行きました。カステラルクゥアートはフィオレンツォーラ
のほぼ隣の街で、タクシーだと 15 分もかかりません。但し、田舎駅であるフィオレンツォーラ駅前
には、タクシー乗り場はあるのですがタクシーは全く見当たりません。そこで、街中の比較的大きな
広場 (カドゥーティ広場) まで行き、そこで、たまたま暇そうにしているたった 1 台のタクシー (黒
のベンツでした) を見つけて、交渉して乗りました。メーターのないタクシーで料金は交渉でした (20
ユーロでした)。でも、運ちゃんは非常に親切で、帰りのバスの時刻とバス停の位置及びバス・チケ
ットの購入場所まで教えてくれ、その上、もし、バスに乗れなかったら迎えに来ると言って、携帯の
電話番号まで教えてくれました。おかげで、フィオレンツォーラへの戻りは、運ちゃんに教えてもら
ったバールでチケットを購入して路線バスに乗ることが出来ました。路線バスの料金はわずか 1.7 ユ
ーロです。やはり、タクシーに比べると安いですね。

「最も美しい村」、「小さな街・村」及び「Castelli del Ducato」の 3 つで推薦されているところは、
カステラルクゥアート以外にも一つあります。Vigoleno というところでカステラルクゥアートか
らそれほど遠くありません。但し、限られたバスしかそこに行かないようです。今度は、もっと良く
計画して行くつもりです。

帰りに、フィオレンツォーラの街も散策してきました。観光地ではないので、期待はしてなかったの
ですが、そこはイタリアの街です。きれいな広場に大きくて立派な教会 (ドゥオモだと思) う) があ
りました。メインストリートには 17,8 世紀の宮殿や古い教会もありました。街もきれいで住み心地の
良さそうな街です。

